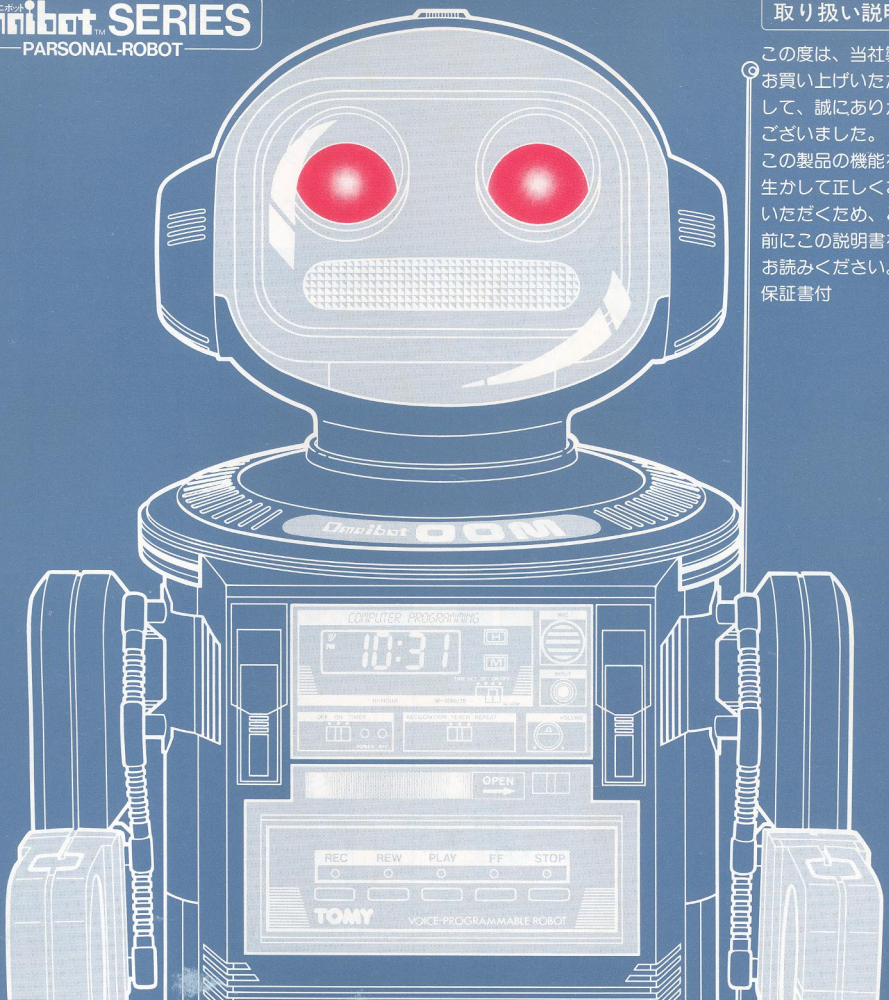


TOMY

オムニボット
Omnibot™ SERIES
PERSONAL-ROBOT

取り扱い説明書

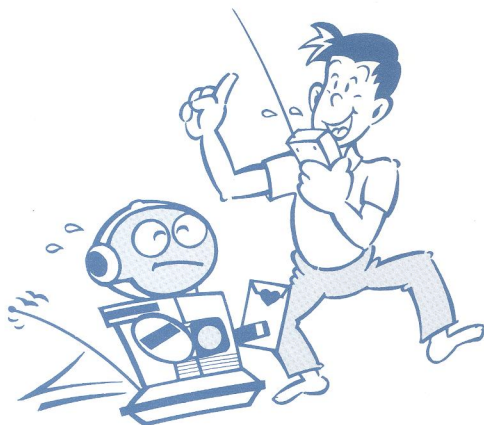
この度は、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
この製品の機能を十分生かして正しくお使いいただくため、ご使用前にこの説明書をよくお読みください。
保証書付



音声認識ロボット

シャロックオム

000



音声認識ロボットシャロックオム

OOM

—もくじ—

セット内容	P.1
仕様、取り扱い上の注意、電池・バッテリーのセット	P.2
バッテリー充電のしかた	P.3
バッテリー交換、ヒューズ交換、豆電球交換について	P.3
時刻の合わせかた、アラーム時刻の合わせかた	P.4
本体の名称と機能、送信機の名称と機能	P.5～6
手・腕の機能、トレイの使いかた	P.7
テープセットのしかた、カセットテープの使用上の注意	P.8
登録のしかた	P.9
登録を入れ替える場合、登録しやすいことは例	P.10
音声命令による走行・目のライト点灯	P.11
ワイヤレスマイクで遊ぼう	P.11
音声命令によるテープ操作	P.12
マイク録音のしかた、カラオケで遊ぼう	P.12
ラジオコントロールによる走行・テープ操作	P.13
直進調整のしかた、操作上の注意	P.13
行動の記憶・リピート(行動のくり返し)	P.14
タイマーによるテープ再生予約、リピート予約	P.15
センサーパネルを使って楽しさを広げよう	P.16
思うように作動しない時	P.17～18
アフターサービスについて	P.19

毎日の暮らしにもロボットが活躍する時代が到来しました。このハイテク時代に、家庭用の本格的なパフォーマンスロボットとして登場したのが、シャロックオム。この大型ロボットは一般のラジオコントロールロボットとは異なり、あなたの声とことばを忠実に記憶し、その声の命令に従って動いたり、テープ再生やライトの点灯などを行う、音声認識機能を備えています。

もちろん、ラジオコントロール機能、テープレコーダー機能、リピート機能、タイマー機能なども備え、多彩な才能を発揮します。

家族の一員として、また、あなたのパートナーとしてかわいがってください。

音声認識機能とは

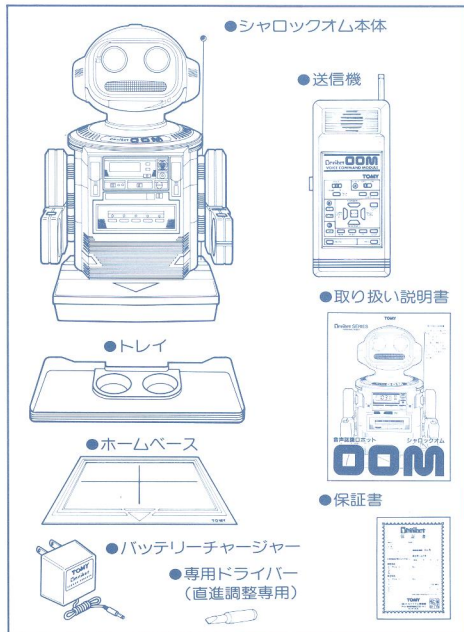
ことばで命令すると、音声認識LSIがその音声波形を、登録されていることばと同じかどうかを判断し、メカニカル部に命令が伝わりロボットが作動するしくみです。

この音声認識LSIは、登録した時のあなたのことば(声)を正確に分析していますので、命令する時は登録した時と同じことばで、発音やアクセント、口調、スピードも同じになるように話してください。

シャロックオムは、この記憶容量を増やし、くり返して登録(1人の場合4回、2人の場合2回ずつ)することで、音声認識の正確性を高めています。

セット内容

ご使用になる前に下図のものが入っているか確認してください。



*オムニボット専用バッテリーは本体に内蔵されています。

仕様

■テクニカルデータ

身長……………48.5cm(アンテナを含まず)
体重……………約5kg(本体のみ)
トレイでの運搬……………約800g
左右の腕での運搬……………約100g

■使用電池(乾電池は別売り)

時計用: 単3乾電池(別売り)……2本
送信機用: 単3乾電池(別売り)……4本
動力用: オムニポット専用バッテリー……………6V4Ah

■その他

操縦範囲……………半径9m以内
(電波状況によって変わることがあります。)
ヒューズ……………5A
オムニポット専用バッテリーチャージャー
入力……………AC100V±10%
出力……………6V300mA

コントロール方式

FM電波を使用し、特定話者の10語による音声認識、及びキー入力によるラジココントロール
カセットテープ
ロジック方式
モノラル、1チャンネル、録音、再生

取り扱い上の注意

- 直射日光の当たる場所、また、温度の高すぎる場所(+40℃以上)や低すぎる場所(0℃以下)には長時間置かないでください。正常に作動しない場合があります。空温状態の場所でご使用ください。
- ホコリ・砂・水のある場所での使用や、強いシヨックなどは避けてください。
- 静電気の発生する場所(テレビ・電子レンジの上など)には置かないでください。
- 手入れの際には柔らかい布などを使用し、揮発性の液体は使用しないでください。

- 使用済みの電池は、火中に投げ入れないでください。破裂する恐れがあります。
- シャロックオム本体に乗ったり、余分な重量をかけますと故障の原因となりますからご注意ください。
- シャロックオムは室内専用ですから屋外では遊ばないでください。特に、ジャリ道など砂や石の多い場所では絶対に使用しないでください。屋外使用で故障が発生した際の修理は有償となりますのでご注意ください。

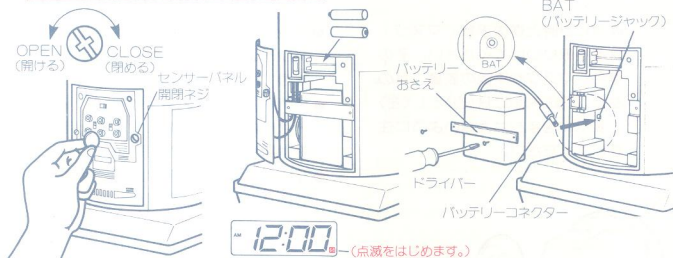
- シャロックオム本体を持ち運ぶ場合は、両耳の下にあるみぞ部分に手をかけて持ってください。腕は持たないようご注意ください。



電池・バッテリーのセット

時計用電池

単3乾電池2本(別売り)



- ①センサーパネルを開ける。
ドライバーや10円玉などの硬貨でセンサーパネル開閉ネジを回し、センサーパネルを手前に引いてください。
- ②電池をセットする。
電池の向きに注意しながら、2本セットしてください。セットしたあと、タイマー表示部が図のようにならないときは、もう一度電池を入れ直してください。

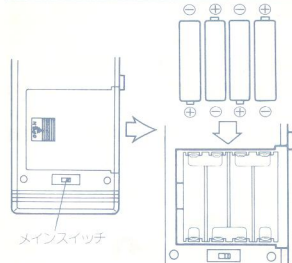
- 電池の寿命は約12ヶ月ですが、タイマーの表示が薄くなって見づらくなったり、誤動作をはじめた場合は、電池を2本とも新しいものに交換し

- ③バッテリーコネクタをBAT(バッテリージャック)にセットする。
バッテリーおさえをはずし、バッテリーコネクタをBAT(バッテリージャック)に接続します。バッテリーおさえをもとの状態にしてセンサーパネルを閉じてください。
- ※リード線をはさみ込まないように。

※センサーパネルは時計用電池・ヒューズを交換するとき以外は絶対に開けないでください。

送信機用電池

単3乾電池4本(別売り)



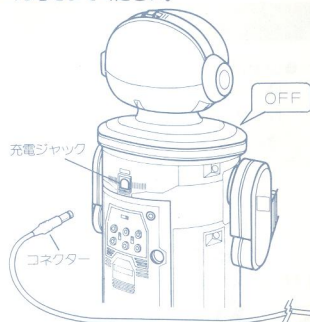
- ①POWERスイッチをOFFにする。
- ②裏フタを開ける。
OPENマークを押しながら矢印の方向にスライドさせます。
- ③電池をセットする。
図のように電池の向きに注意しながら4本セットしてください。

- 電池の寿命は連続で使用した場合、4時間ぐらいです。誤動作をはじめたら電池を4本とも新しいものに交換してください。なお、POWERランプが暗くなってきた場合も同様です。

バッテリー充電のしかた

シャロックオムには、走行させたりテープを動かしたりするためのバッテリーが内蔵されていますので、最初に使用するときは充電してからご使用ください。

シャロックオムの電源スイッチをONの状態にしたとき、通常はPOWER(緑ランプ)が点灯します。もしB・C(赤ランプ)が点灯した場合はバッテリーがないことを表示していますので、バッテリー充電をしてください。



①バッテリーチャージャーのコネクターを充電ジャックに接続する。
電源スイッチをOFF(切)の位置にして、バッテリーチャージャーからでているコネクターをシャロックオム本体の後ろにある充電ジャックに差し込みます。

②バッテリーチャージャーをコンセントにつなぐ。

約12~16時間の充電で約3時間の連続使用が可能です。

***B・C(バッテリーチェック)ランプを赤点灯させたまご使用になりますと、誤動作をしたり、バッテリーの寿命を短くしますので注意してください。**

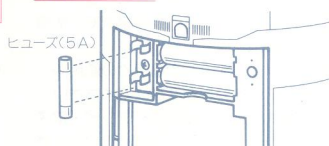


バッテリー交換について

バッテリーの寿命は充電回数で300回くらいですが、十分に充電してもすぐにB・Cランプが赤点灯するようになったら交換する必要があります。内蔵されているバッテリーは、専用バッテリーですから交換の際はウチダサービス(株)の各営業所までお問い合わせください。(裏表紙を参照してください。)

ヒューズ交換について

ヒューズを交換する時は、シャロックオムの電源スイッチをOFF(切)にして図のように新しいヒューズに交換してください。ヒューズは必ず5Aのものを使用してください。

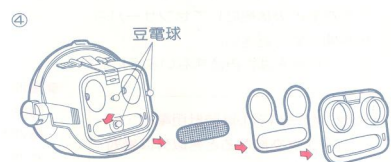
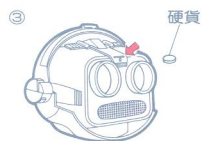
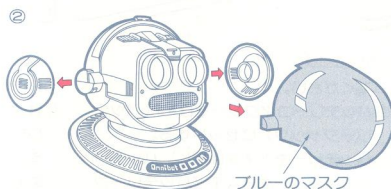


***ヒューズ交換の際は、注意してお取り扱ってください。**

目・口のライト用豆電球の交換のしかた

シャロックオム本体の目と口のライト用豆電球は、次の手順で交換してください。豆電球は市販されているものを使用してください。
(目/2.5V300mA、口/3.8V300mA)

- ①両耳をうしろにまわす(約45°)
- ②耳をま横にはずし、ブルーのマスクをとる。
- ③矢印部分のみぞに、10円玉などの硬貨をあてて手前に引く。



- ④ブルーと透明の平マスクを順番にはずし、口あての平板もはずす。
- ⑤豆電球を取りはずし、新しい豆電球をセットする。

***はずした時と逆の手順でマスク・耳等を取りつけてください。その場合、マスクや平板の表裏、耳の左右(耳の内側にR(右)とL(左)で表示)をまちがえないように注意してください。**

充電に関する注意

- 付属の専用/バッテリーチャージャー以外での充電はおやめください。
- 充電するときは、室温状態の場所で行ってください。
- 連続で24時間以上充電をすることがありますので避けてください。
- 長時間使用しない場合でも、バッテリーは自然放電しますので、6ヶ月に1度は補充充電してください。
- 充電終了後や家を留守にするときは、必ずコンセントからバッテリーチャージャーを抜いてください。

安全のための注意

- 火気を近づけたり、火中への投入をしないでください。
- 分解・改造はしないでください。
- 破損により電解液(希硫酸)が身体についたときは、直ちに多量の水で洗ってください。

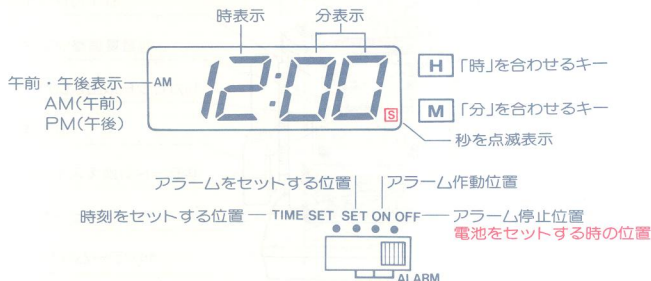
まず、時刻を正確に合わせよう。

シャロックオムには、常に標準時刻を表示する機能がついています。時計用電池を入れ、右記の方法で時刻を合わせてください。また、電池交換をした時も同様です。



時刻の合わせかた

電池をセットすると、表示が下図のようになります。



〈例〉時計を午後3時15分に合わせてみましょう。

- ①本体のスライドスイッチをTIME SETにする。
- ②Hキーを押して、午後3時「PM3:00」に合わせる。
※Hキーは1度押すと1時間、押し続けると早送りになります。
※AM11:00の次はPM12:00、またPM11:00の次はAM12:00に変わります。
- ③Mキーを押して、15分「PM3:15」に合わせる。
※Mキーは1度押すと1分、押し続けると早送りになります。
- ④セットが終わったら、スライドスイッチをALARM OFFにする。

アラーム時刻の合わせかた

〈例〉アラーム時刻を午後5時30分に合わせてみましょう。

- ①本体のスライドスイッチをALARM SETにする。
- ②HキーとMキーを使い、「時刻の合わせかた」の要領でPM5:30にセットする。
- ③セットが終わったら、スライドスイッチをALARM ONにする。
- ④午後5時30分になるとアラームが鳴る。
※アラームを止めたい時、また予約時刻前に取り消した場合は、スライドスイッチをALARM OFFにしてください。



- ②HキーとMキーを使い、「時刻の合わせかた」の要領でPM5:30にセットする。
- ③セットが終わったら、スライドスイッチをALARM ONにする。



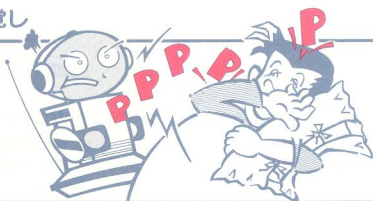
※アラームを予約している場合は、本体の電源スイッチをOFFにしておきます。テープ再生及びリポート再生の場合はTIMERにしておきます。

予約時刻を確認したい場合は、本体のスライドスイッチをALARM SETにすれば予約した時刻が表示されます。

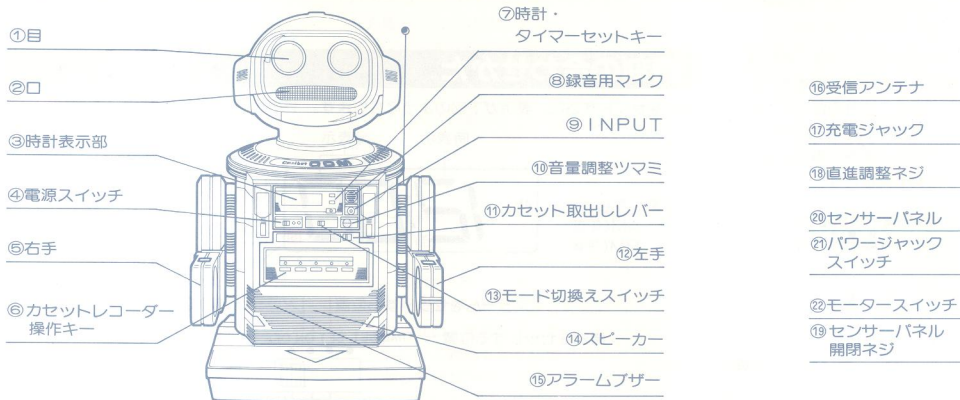


パーフェクト目覚し

アラーム時刻をセットすれば時間があると「ビビィー、ビビィー」と鳴ります。



オムのすべてを知ろう!



本体の名称と機能

- ①目
音声認識やラジオコントロールによる命令でライトが点灯します。
- ②口
シャロックオムの発する音やワイヤレスマイクからの音声およびテープ再生時にライトが点滅します。
- ③時計表示部
通常は標準時刻を表示します。タイマーをセットする時はモニターとなります。
- ④電源スイッチ
- ⑤右手
グラスやペンなどを持つことができます。
- ⑥カセット部



- ON……すべての機能を使用する時にこの位置にします。
- OFF……シャロックオムを使用しない時はこの位置にします。
- TIMER……タイマーをセットした時にこの位置にします。
- POWER……電源をONにした場合、またはTIMERが作動すると緑ランプが点灯します。
- B・C……バッテリーがなくなると赤ランプが点灯します。



- 本体のこれらのキーでもカセット操作ができます。
- REC(録音キー)……テープ録音をする時に再生キーと一緒に押します。
※録音は本体内蔵の録音用マイクで行ってください。
 - REW(巻き戻しキー)……テープを巻き戻す時に押します。
 - PLAY(再生キー)……テープを再生する時や録音する時、及びリピート再生をする時に押します。
 - FF(早送りキー)……テープを早送りする時に押します。
 - STOP(停止キー)……テープを停止する時に押します。
 - EJECT(取り出しボタン)……テープを取り出す時に押します。

⑦時計・タイマーセットキー



- 時計を合わせたり、タイマー(アラーム)をセットする時に使います。
- ⑧録音用マイク
テープ録音の時に使います。
- ⑨INPUT
カラオケをする時はマイクのプラグをここに差し込みます。



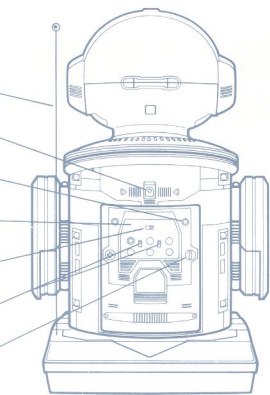
- ⑩音量調整ツマミ
カセットテープ及びワイヤレスマイクの音量を調節します。
- ⑪カセット取り出しレバー
レバーを矢印の方向に押すとカセット部が手前に少しスライドします。

- ⑫左手
手が開閉し、物をつかむことができます。
- ⑬モード切換えスイッチ



- RECOGNITION……認識走行、テープ、ワイヤレス、カラオケ、目の点灯などの操作をする時にこの位置にします。
- TEACH……動作を記憶させる時にこの位置にします。
- REPEAT……記憶した動作をくり返す時にこの位置にします。

- ⑭スピーカー
テープレコーダーの再生音やワイヤレスマイクの音を出します。
- ⑮アラームブザー
時計のアラーム音が出ます。
- ⑯受信アンテナ
受信機からの信号を受信します。
- ⑰充電ジャック
充電するときにバッテリーチャージャーのコネクターを差し込みます。
- ⑱直進調整ネジ
正確に直進走行しない場合に、調整して直進させるネジです。
- ⑲センサーパネル開閉ネジ
電池交換などのとき、このネジを回してセンサーパネルを開けます。



⑫ センサーパネル

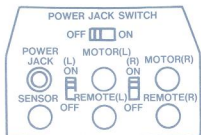
別売りの各種センサーを接続することにより、オムの性能を一段とアップし、楽しみが倍増します。

⑬ パワージャックスイッチ

各種センサーなどを使用する時のスイッチです。通常はOFFにしておきます。

⑭ モータースイッチ

モーターを動かすためのスイッチです。通常は左右ともONにしてください。



① マイク

③ モード切換えスイッチ

④ TALK切換えキー

② マイクスイッチ

⑤ MOVEMENTランプ

⑥ ENTキー

⑦ ACTIONキー

⑧ TAPEランプ

⑨ TAPEキー

⑩ PAUSEキー



⑪ アンテナ

⑫ POWERランプ

⑬ POWERスイッチ

⑭ USERキー

⑮ 登録キー

⑯ RECキー

⑰ メインスイッチ

送信機の名称と機能

① マイク

命令や音声を送る時、この部分に向かって話します。

② マイクスイッチ

マイクに向かって話す時、このボタンを押しながら話します。

③ モード切換えスイッチ



● TRAIN ……命令語を登録する時にこの位置にします。

● VOICE ……音声認識動作をさせる時にこの位置にします。

● R/C ……キー操作のみで動作をさせる時にこの位置にします。

④ TALK切換えキー（押すごとにONとOFFの繰り返し）

ワイヤレスマイクに切換える時に使います。

⑤ MOVEMENTランプ

命令語を登録する時、登録開始時に点滅し、完了すると消えます。

⑥ ENTキー

命令語を登録する時に使います。

⑦ ACTIONキー

走行命令及び、目の点灯命令の時に使います。

⑧ TAPEランプ

テープ命令による動作ができる時に点灯します。

⑨ TAPEキー

テープ命令をする時に使います。

⑩ PAUSEキー

走行中及びテープ動作中、急いで停止

させたい時にこのキーを押します。誤動作や誤操作の場合もこのキーを押すとすべて停止します。

⑪ アンテナ

送信機を使用する時は、先の方をつまみ、いっぱいまで伸ばしてください。

⑫ POWERランプ

電源をONにすると赤く点灯します。

⑬ POWERスイッチ

送信機を使用する時はON、使用しない時はOFFにします。

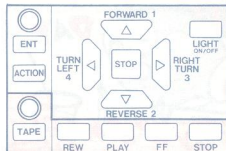
⑭ USERキー

音声認識による命令をする時に使います。（1人が登録している場合は不要ですが、2人の場合は1人目の人が1キー、2人目の人は2キーを使用します。）

⑮ 登録キー

命令語を登録する時に使用します。

また、ラジオコントロールによる操作命令にも使います。



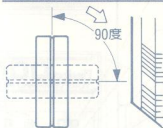
⑯ RECキー

テープに走行パターンや音楽を録音する時に使います。

⑰ メインスイッチ（送信機の裏側にある）
メモリをクリアにする時に使用します。通常はON状態にして使用してください。（メモリをクリアにする方法はP.10を参照してください。）

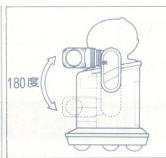
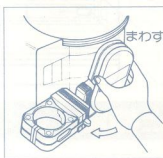
オムはものを持ち、つかみ、運ぶ。

手・腕の機能



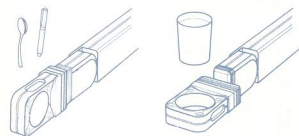
- 手は左右とも内側に90度まで回転します。
※無理に90度以上回転させないでください。

- 腕の上げ下げは、図のように必ず腕の肩分を持って行ってください。
- 腕は横からみて180度までしか動きませんので、無理に回転させないでください。



右手 持つ

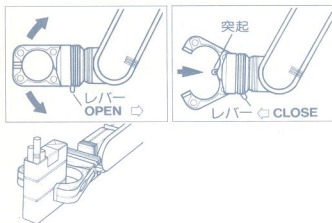
- 片手で約100gの物を持つことができます。



左手 つかむ

- 左手を広げる時は両端を持って⇨の方に広げるか、レバーをOPEN⇨の方向へ引いてください。

- 閉じる時は、突起を⇨の方に押す(物をあてる)か、レバーをCLOSE⇨の方向へ押ししてください。



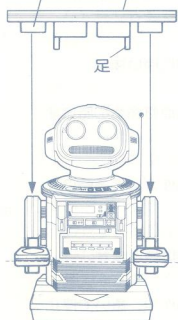
トレイの使いかた

付属のトレイを持たせることによって、手では持ちきれないもの(約800g)を運ぶことができます。

左右の手を同じ高さにしてから、トレイのジョイント部をはめ込み、トレイの足がロボットの本体にあたるように腕の高さを調節します。

※トレイは腕を上げた状態と下げた状態でセットすることができますが、トレイをセットしたままで腕を上下することはできません。

ジョイント部 付属トレイ



- 腕を下げた状態でのトレイの位置

本体との接点部



同じ高さ

- 腕を上げた状態でのトレイの位置

本体との接点部



お手伝いロボット

トレイにママのつくった料理をのせて運びます。

オムはカセットレコーダーになる。

テープセットのしかた

①カセット取り出しレバーをOPENの方向に押し、カセット部が手前にスライドする。

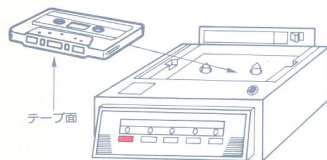


②カセット部が少しとび出したら、手でいっぱいまで引き出す。

③テープの向きに注意してセットする。

④カセット部を元の状態まで手で押し入れる。

*テープを取り出す時は、②の状態(カセット部を引き出した状態)にしてから、EJECT(取り出しボタン)を押します。



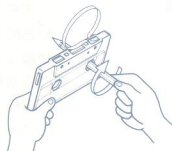
カセットテープの使用上の注意

●カセットテープのはじめにはリーダーテープ(録音できない部分)がついています。録音する場合は、10秒ぐらいテープ走行してからスタートしてください。

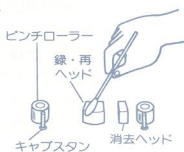


●カセットテープには録音したテープを誤って消去しないようにするためのツメがあります。このツメの折つてあるものでは録音キーが押せず、録音することはできません。ツメの折つた穴を左図のように、セロハンテープなどでふさぐと録音できるようになります。

●内蔵されているカセットレコーダーは、クロムテープやメタルテープを使用するとヘッドの消耗が激しくなりますので、ノーマルポジションのカセットテープを使用してください。(60分までのテープを使用してください。)



●テープを使用する前に、テープがたるんでいないかを確認してください。たるんだままで使用すると、機械に巻きついたり切れたりする原因になりますので、必ずたるみを直してから使用してください。テープのたるみは、鉛筆などで上図のように直します。



●カセットを長時間使用すると、ヘッドの表面やピンチローラー、キャブスタンなどが汚れて、雑音が出たり、音がふるえるなど不安定になります。月に2・3度の割合でクリーニングしてください。カセットを入れずに再生キー(PLAY)を押すと、ヘッド部が出てきますので、市販のヘッドクリーニングキットで、汚れがとれるまで丁寧に拭いてください。



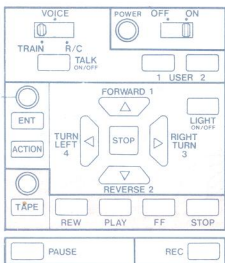
お店の賢い看板ロボット

店長さんのかけ声で、あいさつをしたり、BGMを流したりする働きもの。

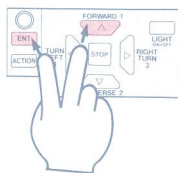
あなたのことを覚えさせよう。

シャロックオムは忠実な音声認識ロボット。ことを10語記憶させておけば、10通りの動作がことをばで命令できます。あなたのことを送信機に登録して、あなたの声とことをばを覚えさせてください。(登録は2人まで可能です。)

ことを登録する場合、気持ちをリラックスさせて普段と同じように話してください。



MOVEMENT
ランプ



※誤った動きをしてもあわてずに、送信機のPAUSEキーを押してください。走行やテープなど、すべての動作がすぐに停止されます。この状態でもう一度命令してください。

登録のしかた

1人で登録する場合

音声の認識度を高めるため、登録は4回くり返してください。(但し、2回でもよい。)

まず、1回目の登録です。

- ①送信機の裏面のメインスイッチをONにする。
- ②送信機のPOWERスイッチをONにする。
- ③モード切換えスイッチをTRAINの位置にする。
- ④ENTキーを押し続けながら、1キー(登録キーのFORWARDキーと兼用)を押す。
- ⑤ENTキーと1キーを同時に離し、登録キーのFORWARDキーを押すとMOVEMENTランプが点滅をはじめる。これが登録してもよいというサインです。
- ⑥この状態で、マイクスイッチを押しながら送信機マイクに向かって、前進させるためのことをば、たとえば「すすめ」または「ぜんしん」と命令する。登録されるとMOVEMENTランプが消える。

※MOVEMENTランプが点滅したままの場合は、もう一度同じことをばをくり返してください。リラックスしてはっきりと話しましょう。

- ⑦次に登録キーのREVERSEキーを押す。
- ⑧MOVEMENTランプが点滅をはじめたら、マイクスイッチを押しながら送信機マイクに向かって、後退させるためのことをば、たとえば「もどれ」または「こうたい」と命令。登録されるとMOVEMENTランプが消える。
- ⑨同様に、RIGHT TURNキーを押し、マイクスイッチを押しながら、右にターンさせるためのことをば、たとえば「みぎ」または「ライトターン」と命令する。TURN LEFT、STOP、LIGHTにそれぞれのことをばと同様に登録する。
- ⑩次はテープレコーダー操作のための登録です。まず、REWキーを押し、マイクスイッチを押しながら送信機マイクに向かって、テープを巻き戻すためのことをば、たとえば「まきもどし」または「リwind」と命令する。同様に、PLAY、FF、STOPにそれぞれのことをばを登録する。

以上の操作で1回目の登録が終了しました。次に2回目の登録を行います。その場合、1回目の登録と同じことをばで登録してください。さあ、2回目スタート。

- ①ENTキーを押し続けながら、2キー(登録キーのREVERSEキーと兼用)を押す。
- ②1回目の登録の⑤~⑩の要領で、同じ10通りのことをばを登録する。

3・4回目の登録も同様です。

- ①ENTキーを押し続けながら、3キー(登録キーのRIGHT TURNキーと兼用)を押す。
 - ②⑤~⑩の要領で、同じ10通りのことをばを登録する。
 - ③ENTキーを押し続けながら、4キー(登録キーのTURN LEFTキーと兼用)を押す。
 - ④⑤~⑩の要領で、同じ10通りのことをばを登録する。
- 以上の操作で、あなたのことをばが登録されました。

2人で登録する場合

シャロックオムは2人のことをばを聞きわたることが出来ます。

音声の認識度を高めるため、登録は1人2回ずつくり返してください。

- ①1人目の人は、1キー(FORWARDキーと兼用)と2キー(REVERSEキーと兼用)を使用して、10通りのことをばを2回くり返して登録する。
- ②2人目の人は、3キー(RIGHT TURNキーと兼用)と4キー(TURN LEFTキーと兼用)を使用して10通りのことをばを2回くり返して登録する。

以上の操作で、2人のことをばが登録されました。このことをばは、裏面のメインスイッチをONのままにしておけば、表面のPOWERスイッチをOFFにしても消えずに、いつまでも記憶されています。

※裏面のメインスイッチをOFFにしたり電池を交換した場合は、記憶が消去されます。

登録を入れ替える場合

すべての登録を入れ替える場合

送信機のPOWERスイッチをOFFにして表面のメインスイッチをOFFにすれば、登録が消去されますので、再度登録手順をくり返して、新しいことばを登録してください。

部分的に登録を入れ替える場合

(例：後退させるためのことばを「もどれ」から「こうたい」に変更する場合)

- 送信機のPOWERスイッチをONにする。
- モード切換えスイッチをTRAINの位置にする。
- ENTキーを押し続けながら、1キー（登録キーのFORWARDキーと兼用）を押す。
- REVERSEキーを押すとMOVEMENTランプが点滅をはじめる。
- マイクスイッチを押しながら、送信機マイクに向かって「こうたい」と命令する。
- ENTキーを押し続けながら、2キー（登録キーのREVERSEキーと兼用）を押す。

⑦ REVERSE キーを押し、マイクスイッチを押しながらマイクに向かって「こうたい」と命令する。

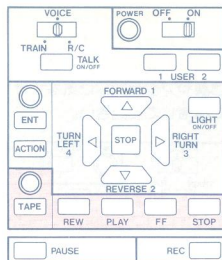
⑧ ENT キーを押し続けながら、3キー（登録キーのRIGHT TURNキーと兼用）を押す。

⑨ REVERSE キーを押し、マイクスイッチを押しながらマイクに向かって「こうたい」と命令する。

⑩ ENT キーを押し続けながら、4キー（登録キーのTURN LEFTキーと兼用）を押す。

⑪ REVERSE キーを押し、マイクスイッチを押しながらマイクに向かって「こうたい」と命令する。

以上の操作で、後退させるためのことばは「こうたい」に変更されました。なお、2人で登録している場合は、最初の登録と同様に、1人目の人は1キー（FORWARDキーと兼用）と2キー（REVERSE キーと兼用）を使用し、2人目の人は3キー（RIGHT TURN キーと兼用）と4キー（TURN LEFT キーと兼用）を使用して入れ替えてください。

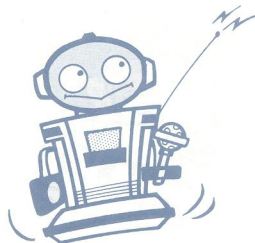


●シャロックオムに登録しやすいことば例（あなたのことばを記録しておきましょう。）

	登録キー	動作	ことば例	あなたの命令語	
				1 USER	2 USER
走行命令	FORWARD	前進する	すすめ ぜんしん		
	REVERSE	後退する	もどれ こうたい		
	RIGHT TURN	右にターンする	みぎ ライトターン		
	TURN LEFT	左にターンする	ひだり ターンレフト		
	STOP	止まる	とまれ やすめ		
命令灯	LIGHT	目のライトを点灯または消灯させる	ヘッドライト ブライツ		
テープ命令	REW	テープを巻き戻す	まきもどし リワインド		
	PLAY	テープを再生する	さいせい サウンド		
	FF	テープを早送りする	はやおくり フオワード		
	STOP	テープを停止する	ていし キャンセル		

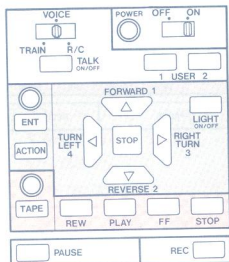
ことばを登録、または命令する場合の注意

- 送信機マイクから5cmくらいまで近づけて話してください。
- 登録した時の口調やアクセントを覚えておき、同じように命令してください。
- 気持ちをリラックスさせて普段と同じように話してください。



あなたのことばで命令してみよう。

さて、登録が終わったら、さっそく動かしてみましょう。送信機に登録したことばで、口調やアクセントに気をつけて命令してください。



本体: RECOGNITION 送信機: VOICEモード

走行

- ① 本体の電源スイッチをONに、モード切換えスイッチをRECOGNITIONにする。
 - ② 送信機のPOWERスイッチをONに、モード切換えスイッチをVOICEにする。
 - ③ 1人で登録した場合はUSERキーの指定は不要。2人で登録した場合はUSERキーの1(1人目に登録した人)、または2(2人目に登録した人)を押す。
 - ④ 送信機のACTIONキーを押す。
 - ⑤ 送信機のマイクスイッチを押しながらマイクに向かって、前進させるためのことば、たとえば「すすめ」または「ぜんしん」と命令する。
 - ⑥ 後退や停止、左右のターンも同様に、マイクスイッチを押しながら命令する。
- さて、あなたの命令どおりに動きましたか。数回命令をだしても動かなかつたり、誤った動きをする時は、もう一度登録しなおしてみましょう。

目のライト点灯

- ① 走行の場合と同じように、マイクスイッチを押しながらマイクに向かって、目のライトを点灯させるためのことば、たとえば「ヘッドライト」または「ブライト」と命令する。
- ② ライトを消したい時は、マイクスイッチを押しながらマイクに向かって、もう一度「ヘッドライト」または「ブライト」と命令する。

※ 誤った動きをしてもあわてず、送信機のPAUSEキーを押してください。走行やテープなど、すべての動作がすぐに停止されます。この状態でもう一度命令してください。



さて、オムと遊んでみよう。

命令のしかたを覚えたところで、走行と目のライト点灯を組み合わせて、オムと遊んでみましょう。



ワイヤレスマイクで遊ぼう。



ワイヤレスマイク機能がついていますので、送信機からあなたの声を送るとそのままシャロックオムが話します。声に合わせて、口のライトも光ります。

- ① 本体の電源スイッチをONに、モード切換えスイッチをRECOGNITIONにする。
- ② 送信機のPOWERスイッチをONにする。
- ③ 送信機のモード切換えスイッチをR/C、またはVOICEモードにする。
- ④ 送信機のTALK切換えキーを押す。
- ⑤ 送信機のマイクスイッチを押しながら、マイクに向かって音声を送る。
- ⑥ 本体のスピーカーから声が出る。(同時

に口のライトがピカピカ光る。)

- ⑦ 音声を送り終わったら、TALK切換えキーを押す。
- ※ TALK 切換えキーは1回押すごとにON・OFFの繰り返しです。ON状態になるとワイヤレス機能が働き、もう一度押すとR/CまたはVOICEモードに変わります。
- ※ 通常ワイヤレスがON状態の時、他の動作に移れません。必ずOFFにしてから行ってください。ただし送信機のPOWERスイッチをOFFにする場合はPAUSEキーを押してからOFFにしてください。



テープ操作のしかた ①

次は、送信機に登録したあなたのことばで、テープの再生・巻き戻し・早送り・停止を命令してみましょう。

- ① 本体の電源スイッチをONに、モード切換えスイッチをRECOGNITIONにする。
- ② カセットテープをセットする。
- ③ 送信機のPOWERスイッチをONにする。
- ④ 送信機のモード切換えスイッチをVOICEにする。

※ 1人で登録した場合はUSERキーの指定は不要。2人で登録した場合はUSERキーの1(1人目に登録した人)、または2(2人目に登録した人)を押す。

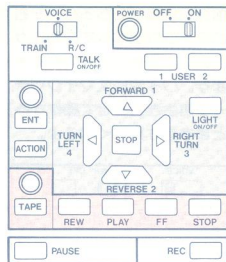
- ⑤ 送信機のTAPEキーを押す。
- ⑥ 送信機のマイクスイッチを押しながらマイクに向かって、テープを再生するためのことば、たとえば「さいせい」または「サウンド」と命令する。

マイク録音のしかた

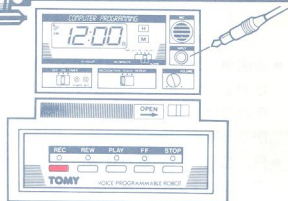
- ① 本体の電源スイッチをONにする。
- ② 本体のモード切換えスイッチをRECOGNITIONにする。
- ③ カセットテープをセットする。
- ④ 送信機のPOWERスイッチをONにする。
- ⑤ 送信機のモード切換えスイッチをVOICEにする。
- ⑥ 送信機のREC(録音キー)を押すと、カセットテープが回り録音が始まる。

- ⑦ 本体の録音用マイク(内蔵)で録音する。
- ⑧ 録音を止める時は、送信機のマイクスイッチを押しながら、送信機マイクに向かって、テープを停止させるためのことば、「ていし」または「キャンセル」と命令する。

※ 送信機のモード切換えスイッチをR/Cにしておけば、録音を止める時、送信機のテープ操作部のSTOPキーを押して止められます。



カラオケで遊ぼう。



- ① 本体の電源スイッチをONにする。
- ② 本体のモード切換えスイッチをRECOGNITIONにする。
- ③ 外部マイクのプラグを本体のINPUTに差し込んでセットする。
- ④ カラオケテープをセットする。
- ⑤ テープを再生させる。

※ 送信機のモード切換えスイッチをVOICEにすると、あなたのことばでテープ操作ができます。(上記テープ操作のしかた①参照)

※ 送信機のモード切換えスイッチをR/Cにすると、送信機のキーで操作できます。(P13テープ操作のしかた①参照)

※ シャロツクオム本体のカセットキーでも操作できます。

さあ、カラオケに合わせて歌ってみましょう。マイクの音量とテープの音量のバランス

スが悪い場合、また、ハウリングを起こす場合は、カセット部を引き出し、右端の入力調整ボリュームで音量を調整してください。ただし必要な時以外は回さないでください。

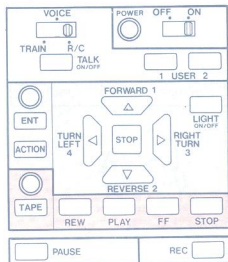


※ 送信機を使用する時は電源スイッチをON、不使用の時は必ずOFFにしてください。

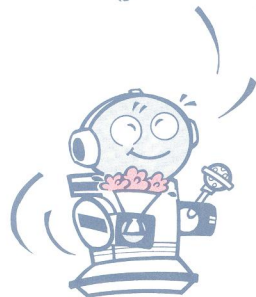


R/C(ラジオコントロール)でも動くよ。

前進・後退はもちろん、左右のターンなどすべての動作がラジオコントロールでもできます。ワイヤレスマイクやテープ再生と合わせて操作するとますます楽しくなるよ。



※誤った動きをしてもあわてずに、送信機のPAUSEキーを押してください。走行やテープなど、すべての動作がすぐに停止されます。この状態でもう一度命令してください。



本体：RECOGNITION 送信機：R/Cモード

走行

- ①本体の電源スイッチをONに、モード切換えスイッチをRECOGNITIONにする。
- ②送信機のPOWERスイッチをONにする。
- ③送信機のモード切換えスイッチをR/Cにする。
- ④送信機のアンテナを伸ばして、前進の時はFORWARDキーを、後退の時はREVERSEキーを、右ターンはRIGHT TURNキーを、左ターンはTURN LEFTキーを、止める時はSTOPキーをそれぞれ押してください。

※テープを再生しながら走行させることはできませんが、ワイヤレスマイクの操作をしたい場合は、シャロックオムの走行を一度止めてから行ってください。

直進調整のしかた

正確に直進走行をしない場合(左右どちらかに曲がってしまう場合)は、本体センサーパネルにある直進調整ネジで調整してください。付属の専用ドライバーで、右に曲がる場合はL方向に、左に曲がる場合はR方向に、軽く回してください。

※必要な時以外は回さないでください。



テープ操作のしかた ①

- ①本体の電源スイッチをONにする。
- ②本体のモード切換えスイッチをRECOGNITIONにする。
- ③カセットテープをセットする。
- ④送信機のPOWERスイッチをONにする。
- ⑤送信機のモード切換えスイッチをR/Cにする。
- ⑥送信機のPLAY(再生キー)を押す。
- ⑦再生を止める時は、送信機のテープ操作部のSTOP(停止キー)を押す。
- ⑧巻き戻しや早送りを行いたい場合は、それぞれREW(巻き戻しキー)、FF(早送りキー)で操作する。

操作上の注意

- テレビ・ラジオなどの近くでの操作は避けてください。(誤動作する場合があります。)
- 送信機のアンテナはいついばまで伸ばしてご使用ください。また、アンテナに手を触れると電波が届きにくくなりますので、注意してください。
- 送信機での操作範囲は、半径約9m以内です。ただし、電波状況によって多少異なることがあります。
- 送信機のアンテナと本体のアンテナを触れさせたり、また、2台のシャロックオムを近づけて操作しないでください。(誤動作する場合があります。)
- R/Cモードで動かす場合、各キーはワンブッシュで動きます。※走行ボタンを1度押しと、その状態を保っています。
- 送信機のPOWERスイッチをOFFにする場合、必ずモード切換えスイッチはR/Cモードにしておいてください。

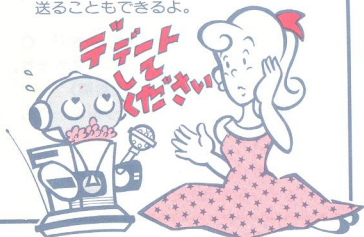


メッセージテープでコミュニケーション。

大好きなあの子にメッセージテープと贈り物をプレゼントしよう。キミのハイテクセンスに、彼女もきっと大感激。口では言いにくいことも、シャロックオムに代理になってもらえば、素直に話せるよ。友だちとけんかをして仲直りしたい時にも使ってください。

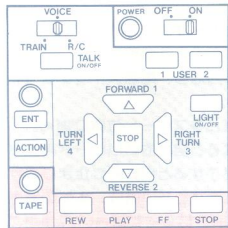
- ①あなたのメッセージをカセットテープに録音する。(P.12マイク録音のしかた参照)
- ②録音したテープを巻き戻してセットする。
- ③シャロックオムの手にプレゼントをもたせる。
- ④送信機で走行させて、カセットテープの再生を指示する。

- ⑤メッセージの再生が終わってから送信機から録音を指示すれば、テープの後半に相手の返事が録音できます。
- ※ワイヤレスマイクを使ってメッセージを送ることもできるよ。



行動を記憶させよう。

シャロックオムは、R/C、VOICEによる走行やワイヤレスによる音声をカセットテープに記憶するTEACH機能をもっています。行動をいろいろ組み合わせて記憶させてみましょう。では、VOICEモードで記憶させましょう。



送信機のモード切換えスイッチをR/Cモードにして、キー操作でもできます。

本体：TEACHモード 送信機：VOICEモード

- ①本体の電源スイッチをONに、モード切換えスイッチを**TEACH**にする。
- ②カセットテープをセットする。
- ③送信機のPOWERスイッチをONにする。
- ④送信機のモード切換えスイッチをVOICEにする。
- ⑤送信機のREC（録音キー）を押す。

⑥記憶させたい動作を命令する(動作例)

1. シャロックオムをスタート地点におく。

2. 送信機のACT I ONキーを押す。

3. 送信機のマイクスイッチを押しながら、マイクに向かって、前進させるためのことば「すすめ」を命令。停止させる時は「とまれ」を命令。

7. 「みぎ」の命令で右にターンさせて、「すすめ」を命令して、スタート地点にもどす。



4. 止まったところで同様に目のライトを点灯させるためのことば「ヘッドライト」と命令。

5. 「みぎ」と命令して90度くらい回ったところで「すすめ」の命令で前進させる。



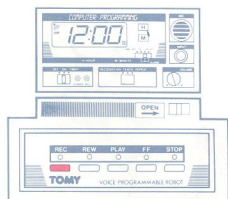
6. 「とまれ」の命令で停止させたら、こんどはワイヤレスマイクで「こんにちは」と声を入れる(P.11参照)

- ⑦命令が終わったら、送信機のTAPEキーを押す。
- ⑧送信機のマイクスイッチを押しながら、マイクに向かって、テープを停止させるためのことば、たとえば「ていし」または「キ

- ャンセル」と命令、そして、テープを巻き戻すためのことば、たとえば「まきもどし」または「リワインド」と命令する。
- ⑨テープが巻き戻されると自動的に停止する。
- * 本体マイクからは録音できません。**
*** リーダーテープは約10秒くらいあります。**

行動をくり返してみよう。

カセットテープに記憶させた行動を何回でもくり返すことができます。これがREPEAT（リピート）機能です。



本体：REPEATモード

- ①本体の電源スイッチをONに、モード切換えスイッチを**REPEAT**にする。
 - ②TEACHモードで記憶させたテープをセットする。
 - ③本体をスタート位置にもどす。
 - ④本体カセット部のPLAY（再生キー）を押す。
 - ⑤カセットテープに記憶された動作を、命令なしでくり返す。
- * REPEAT 操作中は、送信機は使えません。**
*** 途中で動作を停止させたい時は、本体の電源スイッチをOFFにしてください。**



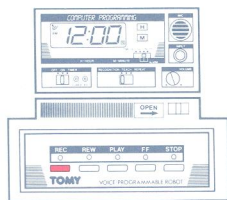
野球大会の元気な応援団長

「ガンバレ、ガンバレ」とかけ声と共に応援ステージを前に、後に走りまわるオムは注目のマト。



タイマー予約で遊ぼう。

24時間に1回、好きな時間にタイマー予約ができます。予約は、アラーム、テープ再生、リピート再生ができ、目ざまし時計としても使えます。いろいろなアイデアを生かして、楽しく遊びましょう。



本体：RECOGNITION

タイマーによるテープ再生予約

- ①本体の電源スイッチをOFFにする。
- ②テープをセットする。
- ③本体の電源スイッチをONにする。
- ④本体のモード切換えスイッチを**RECOGNITION**にする。
- ⑤予約時刻をセットする。(P.4アラーム時刻の合わせかた①②③参照)
- ⑥セットが終わったら、電源スイッチを**TIMER**にする。
- ⑦予約時刻になると自動的にテープが再生され、テープが終了すると自動的に止まります。

※テープ再生を止めたい時は、カセット部の**STOP**キーを押してください。また、予約時刻前に取り消したい場合はスライドスイッチを**ALARM OFF** にしてください。
※必ずこの手順でセットしてください。順序をまちがえると、予約時刻になっても再生されないことがあります。

本体：REPEAT

タイマーによるリピート予約

- ①本体の電源スイッチをOFFにする。
- ②**TEACH**モードで行動を記憶したテープをセットする。
- ③本体の電源スイッチをONにする。
- ④本体のモード切換えスイッチを**REPEAT**にする。
- ⑤予約時刻をセットする。(P.4アラーム時刻の合わせかた①②③参照)
- ⑥セットが終わったら、電源スイッチを**TIMER**にする。
- ⑦シャロックオムをスタート位置におく。
- ⑧予約時刻になると自動的にリピート再生され、行動が終了すると自動的に止まります。

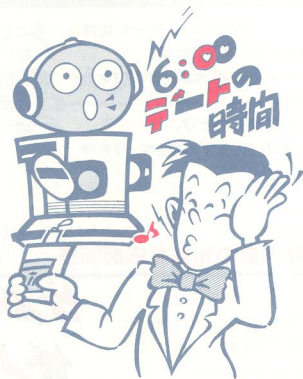
※リピート再生を止めたい時は、本体の電源スイッチを**OFF** にしてください。また、予約時刻前に取り消したい場合はスライドスイッチを**ALARM OFF** にしてください。

※必ずこの手順でセットしてください。順序をまちがえると、予約時刻になっても再生されないことがあります。



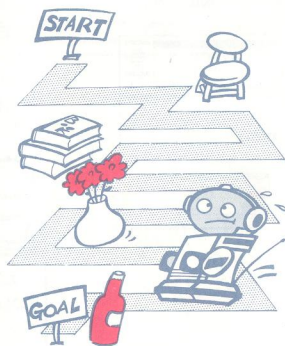
マイ・セクレタリー ロボット

タイマー予約で、今日のスケジュールをオムが教えてくれる。



お友だちと オム・ラリーで 競ってみよう

お部屋の中に、いす、テーブル、本、花ピンなどで、スタートからゴールまでコースをつくり、ゴールまでのタイムを競うオム・ラリー



センサーを使って楽しさを広げよう。

シャロックオムのもうひとつの顔——それが背面にあるセンサーパネルです。(各部名称・機能はP.5~6参照)このセンサーパネルは、いろいろなセンサーと接続することによって、シャロックオムの楽しい機能をどんどん広げてくれます。たとえば、どんなセンサーでどんなことができるかをご紹介します。

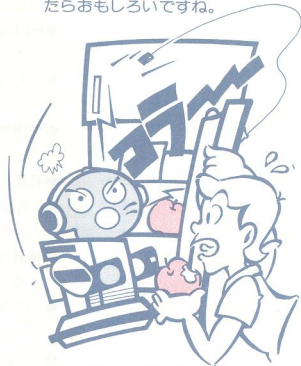
1. PHOTO SENSOR (光センサー)

明一暗、または暗一明という光の変化によってメカニカル部に信号を送ることができます。たとえば、シャロックオムを暗い部屋にスタンバイして、光をあてることによって動き出したり、明るい所に置いて、人が近づくことによってセンサーへの入光をさざりかセットテープからメッセージが流れる、など、いろいろな楽しみ方があります。ホームパーティの出しものに使ったり、お店のメッセージロボットとしても活躍します。



2. SECURITY DETECTOR (ワイヤーセンサー)

先端にマグネットがついている糸のマグネット部分をセンサーにセットし、糸が引っぱられてマグネットがセンサーからはずれることによって、PLAY状態にしておいたカセットテープがスタートするしくみです。糸の先を壁やドアに取り付けて、その糸に気づかずにひっかけた時、マグネットがはずれてメッセージや警告を発するようにしておくなど、アイディア次第で楽しく遊べます。たとえば、冷蔵庫を開けたとたんに、シャロックオムが「つまみぐいをするのはだれだ！」なんて言うたらおもしろいですね。



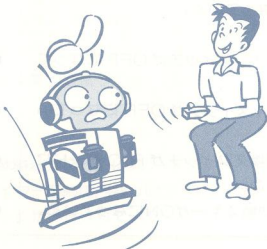
3. INFRARED SENSOR (赤外線センサー)

赤外線が障害物を察知しますので、15~20cmの範囲で障害物をよけて走行する、“おりこうさん”になります。目が届かない場所で、ものにぶつかって転倒することもなく、安心して遊べます。



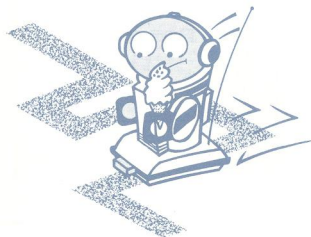
4. SUPER SONIC SENSOR (超音波センサー)

通常の操作命令をなして、いろいろな走行ができるようになります。たとえば、シャロックオムを目的の方向に向けて送信機のPOWERスイッチをONにする。目的方向に直進、着いた後に送信機のスイッチをFOLLOWにすると向き直って送信機に向かってもどってきます。またこの状態で送信機を後ろのポケットに入れて歩くと、その人の後ろをついてきたりもします。カセットテープで音楽など流しながらもこれらの操作ができます。



5. TRACER TAPE (ラインセンサー)

白と黒の差を分析して走行することができます。まず、白色系の床なら黒いテープで、黒色系の床なら白いテープで進路をつくります。シャロックオム本体にセットされたセンサーがテープをよみとり、テープの上を走行するしくみです。ゲームなどにも活用できますね。床がカーペットなどでテープがつかない場合は、白い厚紙の上に黒マーカーで進路を書いてもOK。



思うように作動しない時

こんな症状の場合、修理にお出しになる前に、それぞれの手順に従って操作しているかをもう一度確かめてみてください。また、下記の原因も考えられますので確認しましょう。

	症 状	原 因	処 置
全 体	どの機能も全く動作しない。 (タイマーは除く)	<ul style="list-style-type: none"> ●電源スイッチがOFFまたはTIMERになっている。 ●バッテリーがない。 ●充電中で、バッテリーチャージャーのコネクタが接続されている。 ●ヒューズが切れている。 ●バッテリーコネクタがバッテリージャックに差し込まれていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電源スイッチをONにする。 ●充電する。(P.3参照) ●コネクタを充電ジャックからははずす。 ●ヒューズを交換する。(P.3参照) ●センサーパネルをはずし、バッテリーコネクタを差し込む。
		<ul style="list-style-type: none"> ●表面のメインスイッチがOFFになっている。 ●POWERスイッチがOFFになっている。 ●ことばが的確でない。 ●送信機のアンテナが本体のアンテナに触れている。 ●乾電池が減っている。 ●TALK切換えキーがONになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●表面のメインスイッチをONにする。 ●POWERスイッチをONにする。 ●3～5文字の発音しやすいことばを選択する。(P.10参照) ●アンテナを離す。 ●新しい乾電池と交換する。 ●TALK切換えキーを押してOFFにする。
登 録	ことばが登録できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●表面のメインスイッチがOFFになっている。 ●POWERスイッチがOFFになっている。 ●ことばが登録されていない。 ●モード切換えスイッチがVOICEモードになっていない。 ●ACTIONキーとTAPEキーが切換っていない。 ●TALK切換えキーがONになっている。 ●送信距離が離れすぎている。 ●乾電池が減っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●表面のメインスイッチをONにする。 ●POWERスイッチをONにする。 ●もう一度登録しなおす。 ●VOICEモードにする。 ●走行や目のライト点灯時はACTIONキー、テープ命令の時はTAPEキーを押す。 ●TALK切換えキーを押してOFFにする。 ●半径約9m以内の所で操作する。 ●新しい乾電池と交換する。
音 声 認 識 に よ る 操 作	命令しても動作しない。 (走行・テープ・目のライト点灯)	<ul style="list-style-type: none"> ●表面のメインスイッチがOFFになっている。 ●POWERスイッチがOFFになっている。 ●ことばが登録されていない。 ●モード切換えスイッチがVOICEモードになっていない。 ●ACTIONキーとTAPEキーが切換っていない。 ●TALK切換えキーがONになっている。 ●送信距離が離れすぎている。 ●乾電池が減っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●表面のメインスイッチをONにする。 ●POWERスイッチをONにする。 ●もう一度登録しなおす。 ●VOICEモードにする。 ●走行や目のライト点灯時はACTIONキー、テープ命令の時はTAPEキーを押す。 ●TALK切換えキーを押してOFFにする。 ●半径約9m以内の所で操作する。 ●新しい乾電池と交換する。
		<ul style="list-style-type: none"> ●電源スイッチがOFFまたはTIMERになっている。 ●モード切換えスイッチがRECOGNITIONモードになっていない。 ●センサーパネルのモータースイッチがOFFになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電源スイッチをONにする。 ●RECOGNITIONモードにする。 ●左右のスイッチをONにする。
ラ ジ オ コ ン ト ロ ー ル に よ る 操 作	命令しても動作しない。 (走行・テープ・目のライト点灯)	<ul style="list-style-type: none"> ●表面のメインスイッチがOFFになっている。 ●POWERスイッチがOFFになっている。 ●モード切換えスイッチがR/Cモードになっていない。 ●TALK切換えキーがONになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●表面のメインスイッチをONにする。 ●POWERスイッチをONにする。 ●R/Cモードにする。 ●TALK切換えキーを押してOFFにする。



	症 状	原 因	処 置
テ ィ ー チ ・ リ ピ ー ト 操 作	行動が記憶できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●モード切換えスイッチがTEACHモードになっていない。 ●リーダーテープ部で録音している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●TEACHモードにする。 ●リーダーテープ部が終わってから録音する。(P.8参照)
		<ul style="list-style-type: none"> ●表面のメインスイッチがOFFになっている。 ●モード切換えスイッチが R/C または VOICE モードになっていない。 ●録音キーを押していない。 ●TALK 切換えキーがONになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●表面のメインスイッチをONにする。 ●R/C または VOICE モードにする。 ●REC (録音キー) を押す。 ●TALK 切換えキーを押してOFFにする。
	行動がくり返されない。	<ul style="list-style-type: none"> ●モード切換えスイッチがREPEATモードになっていない。 ●カセットテープが巻き戻されていない。 ●カセットのヘッドが汚れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●REPEATモードにする。 ●テープを巻き戻す。 ●ヘッド部をクリーニングする。
カ セ ッ ト テ ー プ 操 作	再生音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●カセットテープを入れ忘れている。 ●テープに何も録音されていない。 ●音量調整ツマミが左いっぱいまでまわされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●カセットテープをセットする。 ●録音してあるテープをセットする ●音量調整ツマミを右にまわし、音量を上げる。
	録音できない。 (キーが押せない。)	<ul style="list-style-type: none"> ●本体のモード切換えスイッチがRECOGNITIONモードになっていない。 ●カセットテープの消去防止のツメが折れている。 ●カセットテープを入れ忘れている。 ●テープが終了している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●RECOGNITIONモードにする。 ●ツメ穴をセロハンテープでふさぐ。(P.8参照) ●カセットテープをセットする。 ●裏返しにセットするか、巻き戻す。
	カラオケの時、マイクを接続しても声がでない。	<ul style="list-style-type: none"> ●スイッチ付マイクを使用して、スイッチがOFFになっている。 ●音量調整ツマミが左いっぱいまでまわされている。 ●マイクの音量とテープの音量のバランスがとれていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●マイクのスイッチをONにする。 ●右にまわし、音量を上げる。 ●入力調整ボリュームで調整する。
時 刻 表 示	時間合わせができない。	●時計・タイマーセットキーがTIME SET になっていない。	●TIME SET の位置にする。
	時間がくるったり、表示が薄くなったりする。	●時計用電池が減ってきている。	●新しい乾電池と交換する。
タイ マ ー 予 約	希望した時刻にタイマー予約が実行されない。	<ul style="list-style-type: none"> ●標準時刻が合っていない。 ●タイマー予約の内容が間違っている。 ●正しくセットされていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●時刻を正確に合わせる。 ●予約内容を確認する。 ●予約手順を確認する。(P.15参照)

アフターサービスについて。

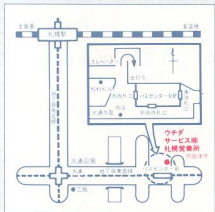
ウチダサービス営業所案内図

●修理サービスは全国各地のウチダサービス株式会社が代行いたします。

東京 マイコン110
東京都千代田区外神田1-6-3
熊谷ビル2F
〒101 ☎03-253-8110(代)



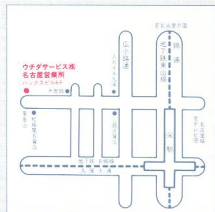
札幌
札幌市中央区大通東2-3
松村ビル
〒060 ☎011-222-0791(代)



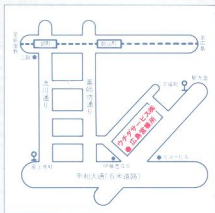
仙台
仙台市片平1-3-37
プラボンビル
〒980 ☎0222-23-3361(代)



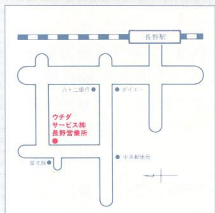
名古屋
名古屋市中区栄3-17-15
バックスビル
〒406 ☎052-263-9424(代)



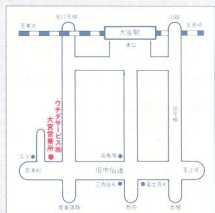
広島
広島市中区西平塚8-13
広島立駐ビル
〒730 ☎082-249-8641(代)



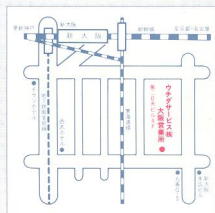
長野
長野市南長野県田529
県田ビル
〒380 ☎0262-34-7371(代)



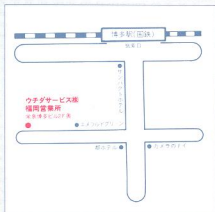
大宮
大宮市吉敷2-45-2
第5埼玉不動産ビル5F
〒330 ☎0486-44-1677(代)



大阪
大阪市東淀川区東中島1-6-14
第2日大ビル
〒533 ☎06-325-3481(代)



福岡
福岡市博多区博多駅中央街5
-12 米泉博多ビル
〒812 ☎092-472-7725(代)



●本製品には保証書が添付されています。
保証書は販売店で、「購入日」「販売店名」などの所定の事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認の上、大切に保存してください。保証期間はご購入日から6ヶ月間です。保証期間後の修理は有償となります。なお、詳細は保証書をご覧ください。

●バッテリー及びバッテリーチャージャーは、シャロックオム専用のものですので、交換の際は、ウチダサービス(株)の各営業所までお問い合わせください。

●シャロックオムは精密機械ですので、ご購入時の発泡スチロール、内箱および外箱を保存し、ご輸送時にはこれらを必ず用いて、完全包装の形にしてくださいようお願いいたします。

●製品に対するお問い合わせは

(株)トミーTTC事業部コールセンター

〒124 東京都葛飾区立石3-19-3 ☎03-695-1031(直通)

TOMY

発売元 株式会社トミーTTC事業部

住所 〒124 東京都葛飾区立石3-19-3

製造元 *トミー工業株式会社

トミーホンデンビル 営業部 ☎03-696-1031(代表)